

国家公務員試験ガイド2024
一般職

MISSION

この国を守り、未来を創る。



この国を守り、 未来を創る。

国家公務員の仕事ってなんだろう？

このパンフレットを手に取ったみなさんはそう思っているかもしれません。

私たちの仕事は国全体に関わる業務を行うこと。

人々の暮らしをより豊かにする政策の企画・立案。

必要な政策実現のための調整、政策の実行・フィードバック。

すなわち、この国に存在するすべての人のための仕事です。

時には、国内にとどまらず国際社会の中で、世界規模の課題に取り組むことも。

担当するミッションはそれぞれの府省で違って、

共通するのはこの国の人々を想い、考え、実行すること。

そこには、国家公務員でしか経験できない社会貢献があります。

あなたの考える豊かな暮らしとは？

あなたの考えるこの国に足りないものは？

人の力は国の力。

一人ひとりの挑戦が国づくりのための鍵になります。

CONTENTS

- 02 コンセプト・目次
- 04 業務紹介 | 国家公務員のMISSION
- 05 業務紹介 | 各府省のMISSION
- 08 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 行政(本府省)
- 10 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 行政(地方機関)
- 13 職員紹介 | 私はここで何をするか? | デジタル・電気・電子
- 14 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 機械、土木
- 15 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 建築、物理
- 16 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 化学、農学
- 17 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 農業農村工学、林学
- 18 ワークライフバランス
- 20 一般職試験(大卒程度試験)の概要、
2022年度一般職試験(大卒程度試験)実施状況
- 21 試験から採用までの流れ、官庁訪問
- 22 給与・勤務時間など、皆さんの疑問にお答えします!
- 23 一般職試験(大卒程度試験)府省等別・試験の区分別採用状況

職員の所属(役職)は、原稿執筆時のものを記載しています。



国家公務員とは？

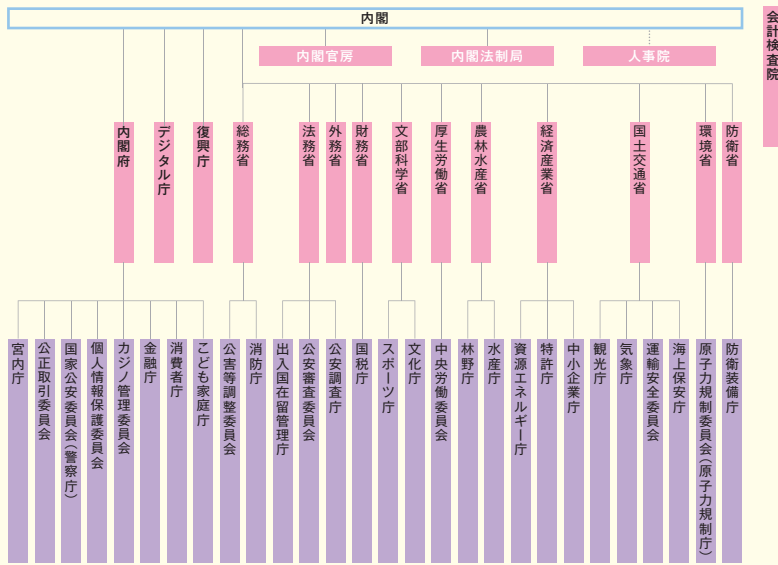
憲法により「全体の奉仕者」と規定され、公のための仕事に携わる公務員は大きく国家公務員と地方公務員に分けることができます。

国の業務に従事する国家公務員は、特別職と一般職があります。

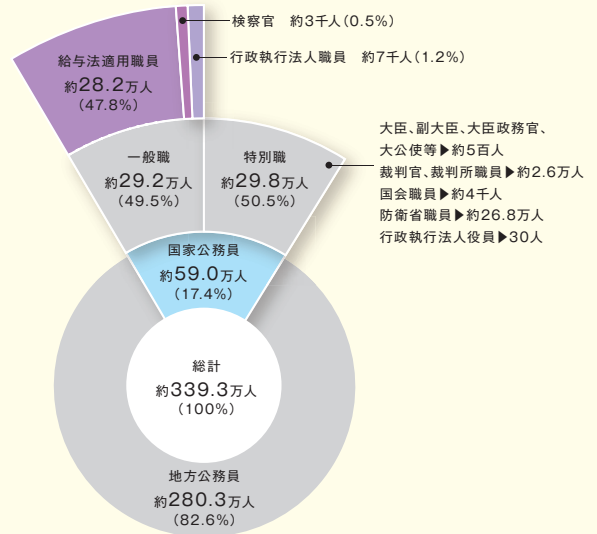
みなさんが頭に思い浮かべる国家公務員とは、各府省で働く一般の行政官や、外交官、税務職員などではないでしょうか。

これらのほとんどは一般職の国家公務員に分類されます。

国の行政組織

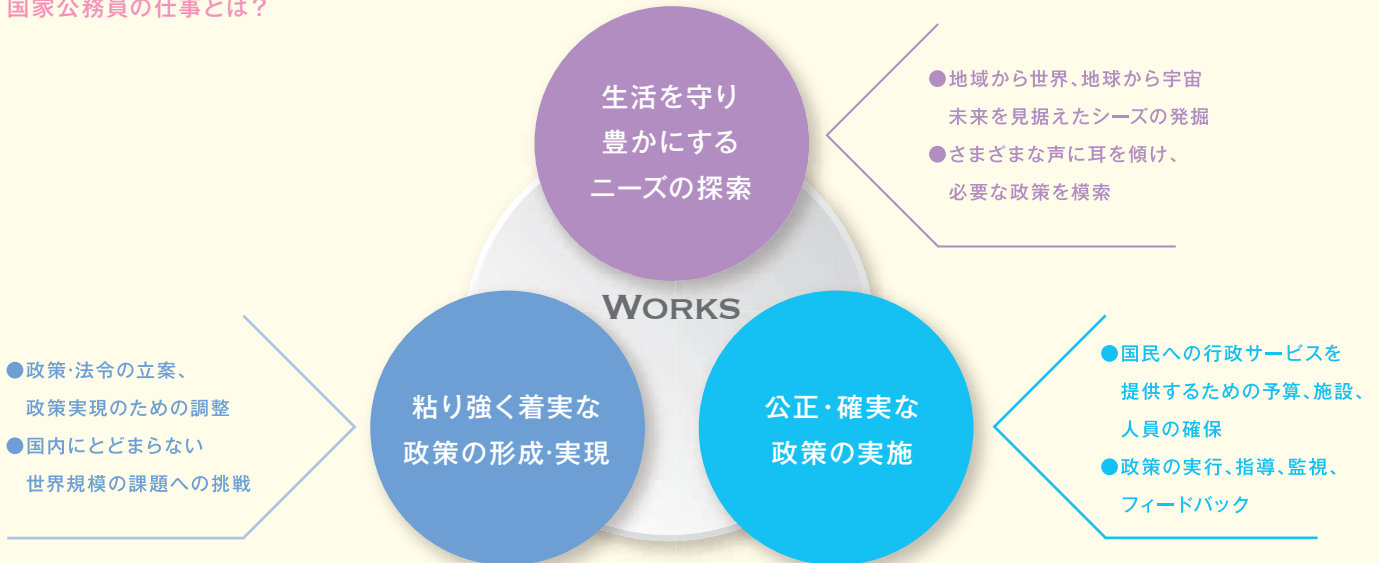


公務員の種類と数



- 1 国家公務員の数は、2を除き、令和5年度末予定数である。
- 2 行政執行法人の役員数は「令和4年度独立行政法人等の役員に就いている退職公務員等の状況の公表」における令和4年10月1日現在の常勤役員数であり（内閣官房内閣人事局資料）、行政執行法人の職員数は、「令和5年行政執行法人の常勤職員数に関する報告」における令和5年1月1日現在の常勤職員数である（総務省資料）。
- 3 地方公務員の数は、「令和3年4月1日地方公務員給与実態調査結果」における一般職に属する地方公務員数である（総務省資料）。
- 4 数値は端数処理の関係で合致しない場合がある。
- 5 このほかに、一般職国家公務員の非常勤職員（行政執行法人の職員等を除く）の数は、「一般職国家公務員在職状況統計表（令和4年7月1日現在）」により約15.9万人である（内閣官房内閣人事局資料）。
- 6 国家公務員の内訳の構成比（ ）は、国家公務員約59.0万人を100としたものである。

国家公務員の仕事とは？



細かい業務や内容は各府省や担当するプロジェクトによってさまざまですが、全体の奉仕者として連携しながら、政策を実際に前に進めていく。それが国家公務員の仕事です。



会計検査院

財政執行の監視人

内閣から独立した憲法上の機関として、国や法律で定められた機関の会計を検査し、会計経理が正しく行われるように監督する職責を担う。



人事院

国家公務員活躍のサポーター

中立・第三者機関として、人事行政に関する公正の確保及び国家公務員の利益の保護等に関する事務を行う。

内閣官房
内閣情報調査室

内閣の情報アドバイザー

官邸直属の情報機関として「内閣の重要政策に関する情報」の収集、分析、報告を行い、官邸の政策決定、遂行を支援する。



内閣法制局

法令・条約の審査役

法制的な面から内閣を直接補佐する機関として置かれており、閣議に付される法律案、政令案及び条約案の審査や法令の解釈などの任務を担う。



内閣府

日本の未来を切り拓くデザイナー

経済財政政策、男女共同参画、防災、沖縄政策等の国の重要政策に関する企画立案・総合調整や、栄典、政府広報等の国家基盤となる業務を担う。



宮内庁

皇室のサポート役

皇室関係の国家事務を担い、国民と皇室の橋渡しを行う。



公正取引委員会

市場の番人

独占禁止法に基づく取締りや競争環境の整備を通じて、市場の公正かつ自由な競争を維持・促進し、創意あふれる事業者が前進できる社会を実現する。



警察庁

市民の安全を守るリーダー

警察に関する制度の企画・立案、都道府県警察の指揮監督を行い、公共の安全と秩序を維持する。



個人情報保護委員会

個人情報の見張り番

個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図る。



カジノ管理委員会

クリーンなカジノの守り人

IRを支えるカジノの厳格な規制によりその健全な運営の確保を担う。



金融庁

金融で未来をデザインする

金融制度の企画立案・金融事業者のモニタリング・金融外交等を通じ、金融の力を活用して社会・経済の諸課題の解決に取り組む。



消費者庁

消費者行政の舵取り役

消費者の利益の擁護及び増進に関する基本的な政策の企画・立案等を担う。



デジタル庁

デジタル庁

デジタル社会形成の司令塔

未来志向のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を大胆に推進し、デジタル時代の官民のインフラを一気呵成に作り上げることを目指す。



総務省

総務省

行政全体のマネージャー

国の行政制度、地方行財政、情報通信等、国家の基本的仕組みに関わる諸制度を担い、新時代の日本を創成する。

FDMA
住民とともに

消防庁

災害対策の司令塔

平時は消防に関する制度の企画・立案を行い、大規模災害時は緊急消防援助隊の派遣等のオペレーション業務等を行い、国民の安心・安全を担う。



法務省

社会の基本ルールのサポーター

法秩序の維持、国民の権利擁護を実現するため、基本法制の立案、再犯防止、出入国管理、登記制度等を担う。



出入国在留管理庁

外国人施策の司令塔

厳格かつ円滑な出入国管理、外国人の適正かつ円滑な受入れを図るとともに、安全・安心な社会の実現に向けた不法滞在者対策等の推進、難民の適正な保護に加え、共生社会の実現に向けた外国人の受入れ環境整備を担う。



公安調査庁

情報のプロフェッショナル

暴力主義的破壊活動を行う危険性のある団体を調査し、得られた情報を団体の規制に活用するほか関係機関に提供することで、日本の安全に貢献する。



外務省

外務省

国際社会における日本の体現者

複雑を極める国際社会において、平和と安全を維持し、「日本国及び日本国民の利益」(国益)の最大化を図る。



Ministry of Finance, JAPAN

財務省本省

社会の仕組みの設計役

国の予算・税制等の財政政策、為替・金融市場等に対するマーケット関連政策、経済外交・関税交渉等の国際関連政策に関する企画・立案を担う。



財務省財務局

国と地域をつなぐ

財務省の総合出先機関として、また、金融庁からの事務委任を受け、財政・国有財産や金融等に関する施策を実施し、国・地域社会の両方に貢献。



財務省税関

国のゲートキーパー

水際における密輸取締、適正かつ公平な関税等の賦課徴収、貿易円滑化の推進等を目的に貿易秩序と国民の安心・安全を守る業務を担う。



国税庁

日本を根底から支える

約5万6千人の職員が一丸となり、「適正・公平な課税及び徴収の実現」という揺ぎ無い正義感を持ち、この国の原動力として日本を支える。



文部科学省

文部科学省

未来づくりのプロフェッショナル

教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の振興等を通じ、人を育て、知恵を生み出し、未来を創る重要な使命を担う。





厚生労働省

かけがえない生活の「要」

国民生活の保障・向上、経済発展に寄与するため、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上・増進、労働条件や労働環境の整備、職業の確保等を担う。



農林水産省

農林水産省

食と生命の守護神

食料の安定供給の確保、農林水産業・農山漁村の振興、森林の整備・保全、水産資源の保存・管理等を担う。



経済産業省

日本経済の牽引役

国の根幹の経済成長を担い、グローバルを舞台に、世界と日本を変革する国内外の経済の仕組み・産業の創出・振興等を担う。



特許庁

「知的財産」の守り人

特許、実用新案、意匠及び商標に関する審査及び事務を行うことを通じ、産業の発展に寄与する。



国土交通省

豊かな暮らしと経済の実現

多様な「インフラツール」を駆使して国内外の“現場”を動かすことで、豊かな暮らしを支え、経済を活性化させる。



気象庁

科学技術を駆使する防災の専門官

気象、地震、津波、火山活動等の自然現象を監視・予測し、的確な防災情報を提供し、自然災害の軽減等に寄与する業務を担う。



運輸安全委員会

事故調査で運輸の安全を担う

航空・鉄道・船舶事故の原因及び被害の原因を究明するための調査を行い、原因関係者に勧告を行うこと等により、再発防止・被害の軽減に寄与する。



海上保安庁

日本の海の守護神

海上における治安の確保、領海警備、海難救助、海洋環境の保全、自然災害への対応、海洋調査、船舶交通の安全確保など多種多様な業務を担う。



環境省

地球と人類の未来の守り人

気候変動対策、資源循環促進、生活環境保全、生物多様性保全、東日本大震災からの復興・再生等の施策を通じ、創設以来の使命である「人と環境を守る」取組を追求する。



原子力規制庁

世界最高水準を目指す確かな規制

原子力規制委員会の事務局として、原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守る。



防衛省

平和と独立を守る「最後の砦」

戦後最も厳しいとされる安全保障環境の中、あらゆる国民活動の基盤となる国家の平和と独立を守るため、安全保障政策の企画から実行までを担う。



防衛装備庁

安心と信頼の防衛装備品を

防衛装備品の研究開発、調達、補給、管理の適正かつ効率的な遂行や国際協力の推進に関する業務を担う。



行政(本府省)

会計検査院

日本の現状を実際に見て、
「より良くするためには」
を考えることができます。



会計検査院事務総長官房総務課
渉外広報室調査官

合田 薫

2014年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

身内に国家公務員が多かったため、小さい頃から自然と自分も国家公務員になると思っていました。そして、大学生のときに業務説明会でいろいろな府省の方のお話を聞き、みなさんが国民のために一生懸命お仕事されていることを知り、更に国家公務員を志望する気持ちが強くなりました。

■日々の仕事とやり甲斐

会計検査院は、国費が適切に使われているかなどをチェックしています。実地検査では、実際に事業を実施している現場に行つて担当者の話を聞きますが、ときには担当者と意見が衝突してしまうこともあります。しかし、粘り強くこちらの疑問点や意見等を伝え、担当者の話をしっかりと聞くことで、最後にはこちらの意見に納得してもらい、より良くするためにはどうしたらよいかを考えるきっかけとなれたときにやり甲斐を感じます。

行政(本府省)

文部科学省

より良い教科書を
児童・生徒へ
届けるために。



文部科学省初等中等教育局教科書課
検定調査第一係

鈴木 蒼

2020年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

私は、塾の講師として生徒と触れ合っていく中で、子供たちが様々な生き方を選択できる教育や社会を作りたいという夢を持ちました。そして、それを実現できる仕事を探した結果、国家公務員として文部科学省で働きたいと思ったのがきっかけです。

■日々の仕事とやり甲斐

教科書課では、各教科ごとに設置されている教科用図書検定調査審議会の運営や、教科書の検定に関する窓口業務を担っています。個人としては、主に小学校、中学校、高等学校の社会科目を担当しています。教科書は、学習指導要領に基づき民間で作られ、それを審議会で調査・審議を行った末に、合格となって初めて学校現場で使われるため、教科書検定を通じて教育の充実に貢献することにやり甲斐を感じ、日々業務に取り組んでいます。

行政(本府省)

特許庁

日本経済発展の 一端を担う 産業財産権制度。



特許庁総務部秘書課

小林 真実

2020年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学で経済学を専攻し、日本の経済発展に携わりたいと考えようになりました。民間企業や公務員の説明会に足を運ぶ中で、特許庁の所管する産業財産権制度に魅力を感じ、特許庁への入庁を志しました。

■記憶に残っている業務

「知財のおかげで堂々と商売ができるようになったよ」
知財分野における地域・中小企業支援に関する業務に取り組んだ際、中小企業の方から嬉しいお声がけをいただきました。我が国中小企業は、人材確保、資金調達等の様々な課題を抱え、知財活動に十分に組み込むことが困難な状況にあります。しかし、中小企業が持つ優れた技術やアイデア、デザイン、ブランドが知財として戦略的に保護・活用されることで事業活動の強化や収益につながります。今後も中小企業等が知財を戦略的に活用し、事業成長を達成できるよう支援したいと考えます。

STAFF INTRODUCTION / 私はここで何をするか？

行政(本府省)

環境省

組織運営の スペシャリストとして 活躍する。



環境省大臣官房秘書課

任用第一係

平川 達希

2016年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

将来の仕事考えた際に、「何らかの形で社会貢献をしたい」という思いが一番の軸にあったことがきっかけです。

■記憶に残っている業務

環境問題に関する外国との調整に従事したことが記憶に残っております。化学物質による汚染への取組や生物多様性の保全等の課題に関して、多くの関係者と調整を行ってまいりました。関係者それぞれが望む姿が異なる場面も多く、それぞれが納得した形にまとめ上げていくに当たっては困難な場面も多くありましたが、粘り強く調整を続けたことで成果を上げられたり、関係者から感謝していただいたことは強く記憶に残っております。

行政(地方機関)

人事院

それぞれの職員が、
より良い社会を
創れるように。



人事院東北事務局総務課研修係長
津田 将平

2016年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

特に就職志望の業界もなく大学生活を送っていましたが、大学の部活の同級生に公務員志望者が多かったことから、選択肢を広げるつもりで説明会(人事院九州事務局が実施)に参加したのがきっかけでした。

■仕事を通じて成長したと感じるエピソード

部署の異動により仕事内容が大きく変わったときでも、係での業務の進め方や他者との調整など、どんな仕事にも共通して役に立つスキルもあります。「前に経験したあの方法が使えるのでは?」と初めての業務やトラブルに対し既視感を覚え、処理方法が頭に浮かんだときには、特に成長したと感じます。たとえその方法でうまくいかなかったとしても、自分の中で「処理方法の引き出しが増えた」と前向きに捉えるようにしています。

行政(地方機関)

公正取引委員会

適切な法執行により
下請取引の適正化を
実現する。



公正取引委員会事務局
東北事務所下請課
高山 勇樹

2016年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

私は大学で法律を学んでいたこともあり、法律を扱う仕事がしたいと思っていました。国家公務員は様々な法律と隣り合わせであり、常に法律を意識しなければいけません。そのような環境で仕事ができることに魅力を感じたため国家公務員を目指しました。

■日々の仕事とやり甲斐

下請課では、下請法という法律の事件調査を行うことで下請取引の適正化及び下請事業者の利益保護を図っています。事件調査では、直接、親事業者の会社に赴いて帳票類を確認したり、ヒアリングを行ったりするなどの方法で、違反行為の実態解明に励んでいます。中々一筋縄ではいかないこともありますが、実態を解明し、違反を立証することで下請取引の適正化に貢献することができるので、とてもやり甲斐のある業務だと感じています。

行政(地方機関)

総務省

転職を経たからこそ
わかる、行政機関で
働くことの魅力。



総務省関東総合通信局総務部
総務課人事係

村上 弘幸

2015年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

前職はIT関係の企業に勤めておりましたが、その知識や経験をより広く、より多くの人の役に立てるため行政に携わりたいと思い、国家公務員を目指しました。

■記憶に残っている業務

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催時に携わった電波監視業務です。開催にあたり、海外から多数の無線設備が持ち込まれる為、運営や放送に利用する無線システムに混信や妨害が生じる恐れがあり、所管官庁である総務省では大規模な電波監視体制が設けられました。私は競技会場の現地監視員として派遣され、大会の期間中、電波監視業務に取り組みました。猛暑かつコロナ禍での電波監視業務は大変でしたが、貴重な経験として記憶に残っております。

STAFF INTRODUCTION / 私はここで何をするか？

行政(地方機関)

法務省

経験と学習こそ、
成長の基礎である。



法務省新潟地方法務局
上越支局登記部門登記専門職

野方 孝大

2015年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

就職活動の結果、国家公務員に縁があったというのがきっかけです。その後、法務局が不動産登記事務を中心に様々な業務に携わっていることを知り、自身のスキルアップが望めると考えて法務局を選びました。

■日々の仕事とやり甲斐

日々の業務では、通常の不動産登記申請の調査(申請された情報及び添付された情報の確認)のほか、窓口に来庁されるお客様への対応をしています。令和6年4月から相続登記の申請義務化が予定されており、お客様からは、相続登記の手続などについての質問が増えています。できるだけ、お客様に寄り添って懇切丁寧に分かりやすい対応を心掛けています。お客様から感謝の言葉を頂いた時は、自身が役に立ったのだと実感し、やりがいを感じています。

行政(地方機関)

出入国在留
管理庁

水際で国の安全を守る
重要な業務。



出入国在留管理庁東京出入国在留管理局
羽田空港支局第二審査部門入国審査官
蝦名 恵佳

2017年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

私が国家公務員になろうと思ったきっかけは、専門性のある職に魅力を感じるとともに、社会に貢献するやりがいのある仕事がしたいと考えたからです。

■日々の仕事とやり甲斐

空港では日々、交替制勤務により出入国審査を行っています。来日する方の大半は歓迎すべきお客様ですが、中には偽変造パスポートにより不法入国しようとするケースや不法就労を目的とするケースもあり、このような日本にとって好ましくない外国人を入国させないよう、国家の安全を最前線で守っている実感を持ちながら働いています。

日本への外国人観光客が年々増加しており、また、グローバル化が進む中、今後も更に重要度の増していく業務だと思っています。

行政(地方機関)

財務省税関

多種多様な業務で、
やりがいと
使命感をもって働く。



財務省門司税関調査部統括調査官
(調査第3部門担当)付
山崎 友貴

2016年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

私は税関職員になりたいと思い、国家公務員を志望しました。税関には、密輸を摘発する旅具検査、税金を徴収する通関や事後調査等、様々な業務があり、どの業務もやりがいを持って働くことができそうなところに魅力を感じました。

■転職について

私は、これまでに転居を伴う異動を1度経験しました。転職が決まった時は、生活環境や職場の同僚が変わることに不安な気持ちもありましたが、同時に、新しい土地で未経験の業務を経験できることにワクワクする気持ちもありました。実際に、転職を経験したことで、業務の幅が広がりスキルアップできたと思います。また、転職先で新たな同僚を持つことにより人脈が広がり、他部署への相談・調整等の業務をよりスムーズに行えるようになりました。

デジタル・
電気・電子
警察庁

技術面から
警察活動を支え、
治安維持に貢献。



警察庁中国四国管区警察局情報通信部
情報技術解析課課長補佐

中谷 和紀

2002年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学の研究室のネットワークが外部から侵入を受け、痕跡や原因等を調査したことで、サイバー犯罪対策の技術に興味を持ちました。業務説明会へ参加し、情報通信技術により、警察活動を支える警察庁の技術職を知り、志望しました。

■仕事を通じて成長したと感じるエピソード

情報技術解析課では、押収物について、犯罪を立証するための電磁的記録の抽出や可視化を行っており、幅広い知識や技術が求められます。自らが調査し理解していくことを繰り返していくうちに、徐々に専門的な知識や技術が身に付いていき、同僚から頼りにされるようになりました。また、身に付いた知識を基に情報処理技術者試験の資格を取得できたことで、業務に自信を持つことができ、自らの成長を感じました。

STAFF INTRODUCTION / 私はここで何をするか？

デジタル・
電気・電子
外務省

本省と世界中の在外公館
を繋ぐ情報通信基盤を
支えています。



外務省大臣官房情報通信課
宮尾 真生

2022年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

技術職採用ホームページや説明会で職員のお話を直接伺ったことがきっかけです。数年先まで見据えたスケールの大きな業務を担い、国や人のために貢献できる点や海外赴任の機会があることから、外務省を志望しました。

■仕事を通じて成長したと感じるエピソード

入省から1年が経過しまだわからないことも多いですが、省内の様々な手続きやネットワーク分野において多くの学びがありました。また、オフィス改革では、優先事項を考慮し何から取りかかるか考えながら各課と調整し進める必要があり、業務を通してコミュニケーションの重要性を学びました。日々の業務においても、曖昧な点については都度確認し、ささいなことでも同僚や上司とコミュニケーションをとるよう心がけています。

機械

防衛省

「航空宇宙自衛隊」に向けて、宇宙領域の最前線で働くやり甲斐。



防衛省航空自衛隊
宇宙戦群研究員
田添 純彦

2015年採用

もっと詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学で行われていた、企業等の合同説明会への参加がきっかけです。当時、航空宇宙分野の仕事に興味を持っていた中、防衛省であればこの分野に広く携われるということを説明会で知り、防衛省職員を目指すことにしました。

■転職について

これまで関わってきた業務は一つの部署で完結するものではなく、他部署、他部隊、他府省との連携によって進めていくものが多かったです。一方で、私は航空幕僚監部での勤務経験がなかったため、物事を考える上での視野があまり広くありませんでした。令和4年に宇宙戦群へ異動となり、初めて部隊で勤務することとなりましたが、今までとは違った視点での業務から学べることは多く、転職は多角的に物事を考える上でのいい機会であると考えています。

土木

国土交通省

国民の安全・安心な暮らしのためのインフラ整備。



国土交通省中国地方整備局
企画部企画課
栗原 歩

2020年採用

もっと詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

東日本大震災後のTEC-FORCEの活動を知り、国土交通省に興味を持ちました。その後発生した平成26年8月豪雨や平成30年7月豪雨を経験し、災害をより身近に感じ、国民の人命・財産を守るための仕事がしたいと思ったことがきっかけです。

■記憶に残っている業務

特に記憶に残っている業務は、入省1年目の時に岡山国道事務所工務課で経験した高さ約15mの箱式橋台を造る工事の発注です。発注から契約、施工業者とのやりとりなど一連の流れを経験させて頂き、約1年半の工事を最初から完成するまで担当する事ができました。経験の浅い当時の私にとっては慣れない業務でしたが、上司や先輩に助けられながら業務を遂行し、完成した橋台を見た時は感慨深い気持ちになりました。また、スケールの大きさにも圧倒された記憶があります。

建築

財務省財務局

国を支えるひとを
住空間（建築）から支え
共に歩む仕事。



財務省関東財務局管財第1部
第3統括国有財産管理官
前田 佑樹

2019年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

将来どんな仕事をしたいか考えた時、学んだ建築の知識を活かし、より多くの人々に貢献できる仕事がしたいという思いがあったことから、国民全体へ貢献できる国家公務員（建築職）こそ自分の理想に近いと感じ、志望しました。

■仕事を通じて成長したと感じるエピソード

学生時代に建築環境工学を専攻しており、図面の読み方や工事に関する知識はほぼ無かったので、配属当初は何をするにも上司に指示を仰ぎ、周囲に支えてもらいながら業務を行っていました。そんな私でも、工事受注者とのやり取りや図面の確認を日々行うことで着実に知識を培うことができ、今では工事の専門的な部分について理解し、自分の考えをもって業務を行うことができています。工事受注者と意見を交わす打合せの場では特に成長を感じます。

物理

気象庁

自然と向き合い、
科学技術開発で
未来まで守ります。



気象庁大気海洋部気候情報課
情報係技術主任
瀬崎 歩美

2015年採用

もっと
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

これまで学んだことを生かせる就職先として、気象や気候のデータを多く取り扱う気象庁に強く興味を持ちました。また、国家公務員の仕事は広く社会に貢献でき、時には国際的な業務に携わることができるというのも、大きな魅力でした。

■記憶に残っている業務

1つ目は入庁してすぐに経験した空の目視観測業務です。刻々と変化する天気を捉える現場ならではの業務で、雲の形や雨・雪の降り方、そこから読む空の状況など先輩方から沢山学ばせて頂きました。

2つ目は、昨年度参加した国際学会です。海外の出席者が発表する研究や業務には当庁にも取り入れたいと感じる手法や知見が多くあり、大変面白い業務でした。ポスター発表における英語での議論には苦労しましたが、非常に貴重な経験をさせて頂きました。

化学

経済産業省

可能。幅広く、そして深く、業務を突き詰めることが



経済産業省産業保安グループ
産業保安企画室兼高圧ガス保安室室長補佐
中西 徹

2009年採用

もっと詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

当初、県庁志望でしたが、興味本位で訪問した官庁訪問にて、当時の資源エネルギー庁の担当職員から、自動車の燃費基準のルール形成プロセスについて熱く語っていただき、その熱意とやりがいにも惹かれ、国家公務員になろうと思いました。

■仕事を通じて成長したと感じるエピソード

どんな業務でもポジティブに捉えて遂行できるようになったかなと思います。私は元々、新しい業務に臆するタイプでしたが、入省以降、比較的幅広い分野の部局を渡り歩き、留学や他府省勤務など多くの経験をしたことで、結果的に好奇心・チャレンジ精神が培われたからではないかと考えます。国際業務も元々得意ではありませんでしたが、通商政策局で学んだ海外出張や国際会議の対応経験が自信につながり、現職でも、なんとかなる、という感覚に繋がっていると感じます。

農学

農林水産省

現場に寄り添った制度で農業経営をサポートします。



農林水産省北陸農政局生産部
生産技術環境課技術普及係長
寺尾 美南

2014年採用

もっと詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学で学んだことを活かせる農業関連の職の中でどの職が良いか考えた際に、特定地域の課題解決に取り組むだけでなく、国として優良事例を紹介することで、同様の問題を抱えている多くの地域の課題を解決したいと考えました。

■記憶に残っている業務

農業経営収入保険という新しい制度を農業者へ広めるため、課内の職員が総出で47都道府県を飛び回り、各地域で制度の説明を行いました。

現場の反応を確かめながらどんな説明が響くかを日々考え、ポスター、チラシ、動画、SNSなど様々な広報資料を用意しました。近年は自然災害などによる予期せぬ収入減少が多く、新制度が農家の経営に直結する制度であると実感できたほか、現場の声を聞く機会が多くあったので、印象に残っています。

農業農村工学

内閣府

農家の方々に喜んでいただける事業を目指して。



内閣府沖縄総合事務局
石垣島農業水利事業所工事課
伊野波 和史

2018年採用

もっと詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

インターンシップでお世話になった国職員から、「水源の確保も重要だが、農業基盤の整備により、地域の農業を守り、ひいては国土保全につながる」といった農業土木が担う役割について話を伺い、そうした仕事に携わりたいと思いました。

■他府省等人事交流

初めて管外の地方農政局へ転動した際、異なる土地柄に不安がありました。仕事への取り組み方は、基本的に今までと同じだと考えたら、不安はすぐなくなりました。また、他地区の農業水利施設の歴史的背景、地区の特性・課題を多く学べたことは、今後の業務を進めていく上で貴重な経験となりました。農業農村工学職は、日本全国を転動する職員も多く、他局の事例を参考にしたり、優れた取組を取り入れたりする風土があります。

STAFF INTRODUCTION / 私はここで何をするか？

林学

林野庁

森林という財産を未来のために守り、育てて、活かしていく。



林野庁中部森林管理局木曾森林管理署
森林情報管理官
奥山 綾菜

2014年採用

もっと詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

日本は、国土の約7割が森林ですが、整備不足など様々な問題から適切に維持・管理されていない森林もあることを知り、それらの問題を解決し、日本の豊かな森林を守り活かす国の事業や取組に携わりたかったからです。

■日々の仕事とやり甲斐

国有林においてドローン、GIS、森林情報のデジタル化といった最新技術に関するデータを整理・管理し、様々な業務に対してデータ提供し、新しい活用方法について検証する業務を担当しています。新しい技術を普及・活用するためには、課題も多いですが、これらの技術の普及や実地での活用が定着し、森林経営管理や林業において、作業の効率化や負担軽減につなげることができればいいと考えながら、業務に取り組んでいます。

育児等に関する両立支援制度

両立支援制度のほか
テレワークを活用するなど
柔軟な働き方ができます

不妊治療で
通院等をする場合

出生サポート休暇
(第二子以降でも使用可能)
年5日(体外受精・顕微授精に
係る通院等の場合は10日)

出産する場合

産前・産後休暇
産前6週間、産後8週間
(多胎妊娠の場合は産前14週間)

生後1年未満の子を
保育する場合

保育時間
1日2回それぞれ30分以内で
勤務しないことが可能

3歳未満の子を
養育する場合

育児休業
配偶者の就業等の状況にかかわらず、
原則2回まで取得可能

小学校就学前の子を
養育する場合

育児短時間勤務
短い勤務時間(3時間55分×5日等
数パターン)での勤務

小学校就学前の子を
養育する場合

育児時間
1日の勤務時間の始めか終わり
(2時間まで)で勤務しないことが可能

小学校就学前の子を
看護する場合

子の看護休暇
年5日(対象となる子が
2人以上の場合は年10日)

3歳未満の子を養育又は
父母等を介護する場合

超過勤務の免除

小学校就学前の子を
養育、又は父母等を
介護する場合

深夜勤務、超過勤務制限
深夜勤務を制限、超過勤務は
月24時間・年150時間以内に制限

小学校就学前の子を養育、
放課後児童クラブ等に通う
小学生の子の送り迎え、
又は父母等を介護する場合

早出遅出勤務
始業・終業時刻を繰り上げ
又は繰り下げて勤務

配偶者、父母、子、祖父母、
孫、兄弟姉妹等を
介護する場合

介護休暇
6月の期間内で
必要と認められる期間

配偶者、父母、子、祖父母、
孫、兄弟姉妹等を
介護する場合

介護時間
連続する3年の期間内において、
1日の勤務時間の始めか終わり
(2時間まで)で勤務しないことが可能

配偶者、父母、子、祖父母、
孫、兄弟姉妹等の
介護等を行う場合

短期介護休暇
年5日(対象となる要介護者が
2人以上の場合は年10日)

外国で勤務等をする
配偶者と外国において
生活を共にする場合

配偶者同行休業
3年を超えない範囲内

その他の
制度

**妊娠中の通勤緩和
のための
職務専念義務免除**

**妊娠中の休息、
補食のための
職務専念義務免除**

配偶者出産休暇

育児参加のための休暇

**育児を行う職員の
フレックスタイム制**

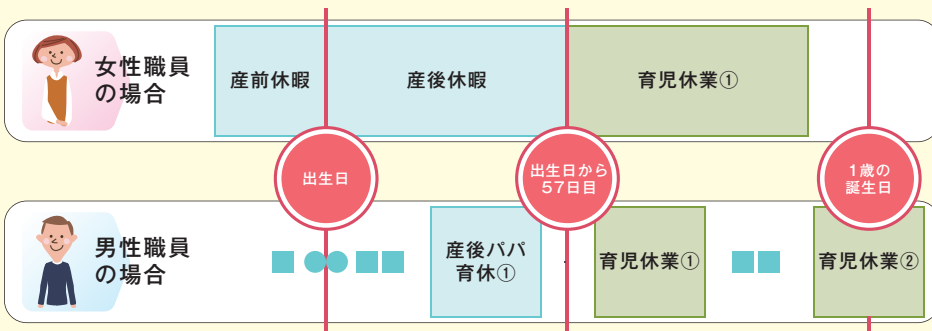
休憩時間の短縮・延長

**妊娠中の健康診査
及び保健指導のための
職務専念義務免除**

妊娠中の業務軽減等

※ 産前・産後休暇は女性を対象とした休暇。「配偶者出産休暇」(妻の出産に伴う入院の付き添い等、2日以内)、「育児参加のための休暇」(妻の出産予定日の6週間前の日から出産の日以後1年を経過する日まで、5日以内)は男性を対象とした休暇。そのほかの休暇は、男女問わず利用することができます。

出産・育児に係る休暇、育児休業制度の活用例



令和4年10月1日から、 育児休業・育児参加のための 休暇をより取りやすく改正。

- ▷ 子の3歳の誕生日の前日まで、育児休業を原則2回(改正前:原則1回)まで取得可能に。
- ▷ 上記育児休業とは別に、産後パパ育休(子の出生日から57日間以内にする育児休業)を2回(改正前:1回)まで取得可能に。
- ▷ 育児参加のための休暇について、妻の出産予定日の6週間前の日から出産の日以後1年を経過する日まで(改正前:出産の日以後8週間を経過する日まで)の期間において、5日の範囲内で使用可能に。

もっと詳しく読む



● 配偶者出産休暇

■ 育児参加のための休暇

2015年採用

やればできる!!
でも、できないときは、
やってもらえばできる!!



■ 利用した制度や働き方改革をした点

過去にはテレワーク(週2~3回)と育児時間、現在は育児のための早出遅出勤務、休憩時間の短縮を利用しています。育児時間では勤務時間を短縮し、テレワークでは通勤時間を節約できるため、夕方の家事に余裕が生まれました。そのうち両立に慣れてきてフルタイムにしたいと思ったため、今は育児時間をやめるとともに、保育園送迎に間に合うよう早出遅出勤務で通常出勤時間を1時間前倒しし、休憩時間の短縮で昼休憩を30分にしています。

■ 日々の仕事

調査資料室の窓口業務(部局窓口から来る作業依頼等の対応、室内作業のとりまとめ、国会対応)、室内職員の出退勤時間管理、室内備品管理をしています。また、所属部局では毎年千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式及び全国戦没者追悼式を開催しており、開催に向けた準備及び当日業務を、室の企画調整担当として局内他課室と連携して行っています。

■ 制度の活用や働き方改革により変化したこと

長男出産前よりも、限られた時間を有効に使うよう緊張感をもって仕事するようになりました。業務量は他の職員と同じなのに、時間は圧倒的に足りません。保育園の関係で退庁しなければいけない時間が決まっており、子どもの発熱で急に早退したり数日間休んだりすることもあります。そのため、単純な仕事は集中して短時間で処理し、大きな仕事やミスが許されない仕事は自分だけで抱え込まず周りを巻き込んでチームで仕事するように心がけています。

ONEDAY | ある1日のスケジュール

| | |
|-------|------------------------------------|
| 05:30 | 起床 保育園の準備、洗濯物取り込み、朝食・弁当作り(夫と分担) |
| 07:20 | 子どもを保育園に送る |
| 08:30 | 出勤 |
| 09:00 | 室内職員の予定確認、出退勤時間整理、作業依頼への対応 |
| 11:30 | 昼食 |
| 12:00 | 式典の室内説明会資料作成 |
| 14:00 | 関係課室と打ち合わせ |
| 14:30 | 作業依頼への対応 |
| 16:45 | 退庁、保育園にお迎え |
| 18:20 | 帰宅、園の汚れ物洗濯、夕飯作り |
| 18:40 | 夫帰宅 |
| 19:20 | 家族全員で夕食 |
| 20:20 | 子どもとお風呂 |
| 21:10 | 洗濯 |
| 21:30 | 就寝 |



message

配偶者からのメッセージ

産後の母体は、体調の変化や、家族が増えたことでの生活リズムの変化等により、肉体的にも精神的にも大きな負荷のかかる時期です。正に夫の出番です。

また、主体的に育児に関わることで、問題意識のレベルを合わせることに繋がることを実感しました。育児は育休が明けても続きますから、この機会にベクトルを合わせてチーム力を高めましょう!

一般職試験(大卒程度試験)の概要

一般職試験は、政策の実行やフィードバックなどに関する事務をその職務とする係員の採用試験です。

試験の区分

「行政」区分における本府省への採用については、「行政関東甲信越地域」からの採用が中心となりますが、全国から優秀な方を採用できるようにする観点から、それ以外の地域からも採用が可能となっています。区分別の採用予定機関一覧は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「採用情報」をご覧ください。

| 試験の区分 | 採用時の勤務地等 | 試験の区分 | 採用時の勤務地等 |
|-------|----------|--|--|
| 行政 | 北海道地域 | 北海道 | 技術系 採用予定のある機関の所在地 (採用時の勤務地は本人の希望を踏まえて決定します) (採用予定のある機関は毎年異なります) |
| | 東北地域 | 青森県・岩手県・宮城県・秋田県 山形県・福島県 | |
| | 関東甲信越地域 | 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県 千葉県・東京都・神奈川県 山梨県・新潟県・長野県 | |
| | 東海北陸地域 | 岐阜県・静岡県・愛知県・三重県 富山県・石川県・福井県 | |
| | 近畿地域 | 滋賀県・京都府・大阪府 兵庫県・奈良県・和歌山県 | |
| | 中国地域 | 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県 | |
| | 四国地域 | 徳島県・香川県・愛媛県・高知県 | |
| | 九州地域 | 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県 宮崎県・鹿児島県 | |
| | 沖縄地域 | 沖縄県 | |
| | 本府省 | デジタル・電気・電子 | |
| | | 機械 | |
| | | 土木 | |
| | | 建築 | |
| | | 物理 | |
| | | 化学 | |
| | | 農学 | |
| | | 農業農村工学 | |
| | | 林学 | |

受験資格

21歳以上30歳未満の者
(その試験の名称に掲げる年度の4月1日現在における年齢)

(注)21歳未満の者で大学卒業(及び卒業見込み)、短大又は高専を卒業(及び卒業見込み)並びに人事院が、これらの者と同等の資格があると認める者は、受験することができます。

試験科目

| 試験 | 行政区分 | 行政区分以外の区分 |
|-------|--|---|
| 第1次試験 | 基礎能力試験(多肢選択式) 専門試験(多肢選択式) 一般論文試験 | 基礎能力試験(多肢選択式) 専門試験(多肢選択式) 専門試験(記述式) |
| 第2次試験 | 人物試験 | 人物試験 |

2022年度一般職試験(大卒程度試験)実施状況

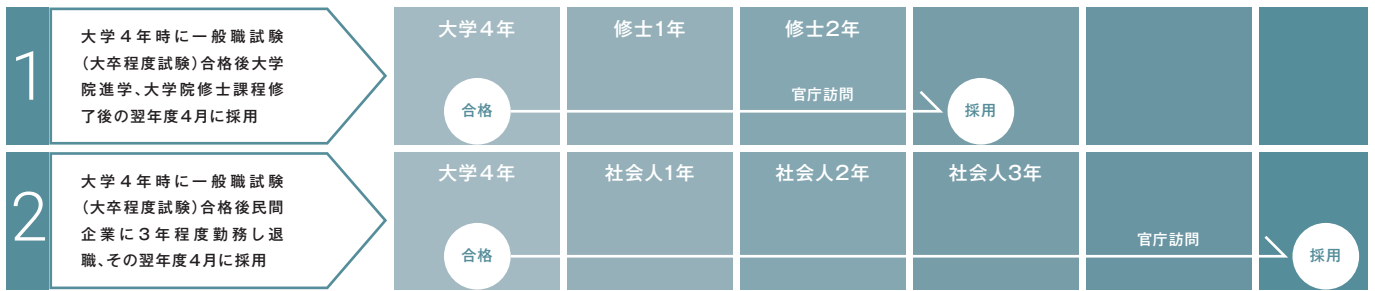
| 試験の区分 | 申込者数 | 最終合格者数 |
|---------|-----------------|---------------|
| 北海道地域 | 1,017 (348) | 470 (179) |
| 東北地域 | 1,535 (649) | 559 (243) |
| 関東甲信越地域 | 9,204 (3,983) | 1,844 (779) |
| 東海北陸地域 | 2,568 (1,107) | 749 (323) |
| 行政 近畿地域 | 3,291 (1,525) | 794 (386) |
| 中国地域 | 1,635 (711) | 495 (204) |
| 四国地域 | 1,003 (469) | 323 (160) |
| 九州地域 | 2,703 (1,244) | 734 (352) |
| 沖縄地域 | 755 (329) | 131 (65) |
| 行政計 | 23,711 (10,365) | 6,099 (2,691) |

| 試験の区分 | 申込者数 | 最終合格者数 |
|------------|-----------------|---------------|
| デジタル・電気・電子 | 487 (80) | 214 (29) |
| 機械 | 312 (32) | 126 (9) |
| 土木 | 1,193 (250) | 581 (123) |
| 建築 | 160 (69) | 65 (28) |
| 物理 | 314 (68) | 157 (36) |
| 化学 | 541 (208) | 217 (92) |
| 農学 | 762 (346) | 377 (175) |
| 農業農村工学 | 184 (57) | 79 (23) |
| 林学 | 439 (137) | 241 (65) |
| 合計(行政・技術) | 28,103 (11,612) | 8,156 (3,271) |

(注)()内の数字は、女性の内数です。

試験内容や出題分野をご覧になりたい方、最新の詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「試験情報」をご覧ください。

試験から採用までの流れ



「合格」＝「採用」ではありません。

一般職試験(大卒程度試験)に合格すると採用候補者名簿に5年間(注)記載されるので、その間、志望する府省を訪問(官庁訪問)して、内々定を得る必要があります。

(注)2023年度(令和5年度)の試験から、有効期間が5年間となりました。

2022年度(令和4年度)以前の試験の合格者については採用候補者名簿の有効期間は3年間ですので、ご注意ください。

官庁訪問

- 1 官庁訪問は、志望府省を訪問し、業務説明や面接を受けるもので、志望府省に採用されるための重要なステップです。
- 2 「採用試験合格＝採用」ではなく、官庁訪問を経て志望府省の内々定を得ることで採用に至ります。
- 3 志望府省に関する知識を深めるとともに自己PRの重要な機会となります。
- 4 複数の府省を訪問できますので、志望府省を積極的に訪問しましょう。

story of one's experience

若手職員 体験談

官庁訪問で心掛けたこと、
これから官庁訪問する人へアドバイスをお願いします。

もっと詳しく読む



官庁訪問の面接官は、採用された際に、一緒に業務を行う相手になるかと思うので、質問の内容から、どういことを期待されているのかを意識して、飾らずに対応されるのが良いかと思います。

事前の情報収集と素直さを意識しました。パンフレット等の公開データはもちろんのこと、業務説明会等のイベントに参加して、実際に職員の方の声を聞いて参考にしていました。官庁訪問時には、「聞かれたことについて、素直に端的に回答すること」を心がけており、これによりスムーズに進行できたのかなと感じています。訪問中は体力勝負なところもありますので、健康第一に頑張ってください。

自身のスキルをアピールすることも大事ですが、大学等で積んできた各種経験や採用後に取り組みたい内容を、丁寧かつ熱意をもって伝えることが、より重要だと思います。暑いさなかの官庁訪問になるので心身ともに大変だと思います。皆さんの希望が叶うよう、応援しています。

面接官と円滑にコミュニケーションをすることを一番に心掛けました。適度な緊張感を持ちつつも、リラックスしてコミュニケーションを取ることを意識していただくとキャッチボールがうまくいくかと思っています。

個人情報保護委員会

Aさん



会計検査院

Bさん



公安調査庁

Cさん



環境省

Dさん



官庁訪問のルールやスケジュール等の詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「採用情報」をご覧ください。

給与・勤務時間など

(令和5年4月現在)

| | |
|----------|---|
| 初任給 | <大卒程度試験採用>229,440円 ※1 |
| 諸手当 | 扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当など |
| 昇給 | 原則年1回 |
| 賞与(ボーナス) | 期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の約4.4月分(6月、12月に支給) |
| 勤務時間 | 1日7時間45分 ※2 |
| 休暇等 | 年次休暇20日 ※3 残日数は20日を限度として翌年に繰越し その他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇等 |
| 休日 | 土・日、祝日等・年末年始(12月29日~1月3日) ※2 |

※1 本府省に勤務する場合の俸給(行政職俸給表(一)1級)、本府省業務調整手当、地域手当の合計

※2 職務の必要等に応じて異なる場合があります。

※3 4月1日採用の場合、採用年は15日

皆さんの疑問にお答えします！

Q

人事異動(転勤)について教えてください。



A

人事異動のタイミング(年数)やエリア(範囲)は各府省によってさまざまであり、本府省と地方機関でも異なります。また、国家公務員全員が転居を伴う異動(転勤)を経験するわけではありません。

Q

総合職試験と一般職試験の違いについて教えてください。



A

総合職試験は、政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する業務に従事する係員を採用するための試験であり、本府省を中心に採用されます。一般職試験は、政策の実行やフィードバックなどに関する業務に従事する係員を採用するための試験であり、本府省での採用のほか、地方機関で採用される場合もあります。一般職試験で採用された場合でも、意欲と能力次第では政策の企画立案や業務管理などに従事する、幹部候補生になるといったことが可能です。

Q

行政区分と技術系区分の違いについて教えてください。



A

行政区分は、オールラウンダーとして多岐に渡る業務を担当します。
技術系区分は、スペシャリストとして専門分野を生かした業務を担当します。

Q

国家公務員に関する情報について、どうやって集めたらよいのでしょうか。



A

人事院では、複数の府省(機関)が参加する対面での合同説明会等に加え、WEBイベントも実施していますし、各府省(機関)においても独自にイベントを実施しています。また、HPや各種SNSでも、採用情報や各種イベントに関する情報に加え、国家公務員の魅力や各府省の業務の実態について発信しています。人事院のイベントに参加する、HPやSNSを見るなどのアクションを起こして気になる府省(機関)を見つけてください。見つかったら、気になる府省(機関)のHPを見たり、イベントに参加して職員の生の声を聞く、政策や業務の理解を深めるといったことをおすすめいたします。人事院地方事務局(所)のホームページもぜひチェックしてみてください！

Q

行政区分で本府省での採用を希望する場合には、どの地域区分を受験すればよいのですか。



A

行政区分は、全国を9つの地域に分け、その地域に所在する官署の採用を対象とする地域別の試験として実施していますが、本府省については、どの地域で受験しても採用が可能です。また、その地域に所在する官署と本府省の両方を志望することも可能です。

一般職試験(大卒程度試験)府省等別・試験の区分別採用状況

(令和5年4月1日現在)

| 府省等 | 試験の区分 | | | | | | | | | | | 合計 |
|-----------|---------------|------------|--------|----------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|--|---------------|
| | 行政 | デジタル・電気・電子 | 機械 | 土木 | 建築 | 物理 | 化学 | 農学 | 農業農村工学 | 林学 | | |
| 会計検査院 | 25 (10) | | 1 | 1 | | | 3 (2) | 2 (2) | | | | 32 (14) |
| 人事院 | 12 (8) | | | | | | | | | | | 12 (8) |
| 内閣官房 | 8 (2) | 1 | | | | | 3 (1) | 2 (1) | | | | 14 (4) |
| 内閣法制局 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 内閣府 | 32 (17) | 2 | 3 | 6 (3) | | | 1 (1) | 5 (3) | 2 (1) | | | 51 (25) |
| デジタル庁 | 5 (1) | 3 (2) | | | | | | | | | | 8 (3) |
| 宮内庁 | 8 (5) | | 1 | 1 | | | | | | 1 (1) | | 11 (6) |
| 公正取引委員会 | 13 (7) | | | | | | | | | | | 13 (7) |
| 警察庁 | 36 (13) | 12 (6) | 5 (2) | 4 (1) | | 4 (1) | 10 (4) | 11 (3) | | | | 82 (30) |
| 個人情報保護委員会 | 3 (3) | 1 | | | | | | | | | | 4 (3) |
| カジノ管理委員会 | 2 (1) | | | | | | | | | | | 2 (1) |
| 金融庁 | 23 (13) | 1 | | | | | | | | | | 24 (13) |
| 消費者庁 | 3 (3) | | | | | | | 1 (1) | | | | 4 (4) |
| こども家庭庁 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 総務省 | 127 (59) | 7 (1) | 2 | | | 1 | 4 | | | | | 141 (60) |
| 法務省 | 237 (122) | | | | | | | | | | | 237 (122) |
| 検察庁 | 177 (85) | 1 | | | | | | | | | | 178 (85) |
| 出入国在留管理庁 | 157 (73) | | | | | | | | | | | 157 (73) |
| 公安調査庁 | 57 (24) | | | | | | | | | | | 57 (24) |
| 外務省 | | 2 | | | 2 (2) | 1 (1) | | | | | | 5 (3) |
| 財務省 | 10 (5) | 1 | | | | | | | | | | 11 (5) |
| 財務省財務局 | | 1 | | | 2 (1) | | | | | | | 3 (1) |
| 財務省税関 | 178 (81) | 1 | 1 | 1 | | | 20 (9) | 1 | | | | 202 (90) |
| 文部科学省 | 32 (17) | 1 | | | 1 | | 4 (2) | 1 (1) | | | | 39 (20) |
| 厚生労働省 | 718 (316) | 4 | | | | | | | | | | 722 (316) |
| 農林水産省 | 152 (74) | 2 (1) | 1 | 1 | | | 8 (7) | 75 (44) | 28 (12) | 2 (1) | | 269 (139) |
| 林野庁 | 11 (5) | | | 1 (1) | | | | | | 73 (23) | | 85 (29) |
| 水産庁 | 12 (4) | | | 1 | | | | | | | | 13 (4) |
| 経済産業省 | 74 (36) | 13 (3) | 5 (1) | 5 (2) | | 1 | 16 (7) | 4 (3) | | 2 (1) | | 120 (53) |
| 特許庁 | 33 (19) | | | | | | | | | | | 33 (19) |
| 国土交通省 | 400 (131) | 28 (3) | 39 | 218 (53) | 16 (7) | 11 (1) | 27 (10) | 21 (6) | 6 (3) | 24 (3) | | 790 (217) |
| 観光庁 | | | | | | | | | | | | |
| 気象庁 | 28 (16) | 3 | | 3 (1) | | 79 (13) | 8 (2) | | | | | 121 (32) |
| 運輸安全委員会 | 4 (2) | | 1 | | | | 1 (1) | | | | | 6 (3) |
| 海上保安庁 | | | | | | | | | | | | |
| 環境省 | 12 (4) | | 1 (1) | 4 (1) | | | 1 (1) | 1 (1) | 1 | 11 (5) | | 31 (13) |
| 原子力規制庁 | 7 (5) | 1 | | | | | 10 (3) | | | | | 18 (8) |
| 行政執行法人 | 22 (6) | 3 | 2 | | | | 16 (7) | 12 (8) | | 2 (1) | | 57 (22) |
| 防衛省 | 206 (81) | 21 (4) | 4 (2) | 8 (2) | 2 (2) | 3 | | | | | | 244 (91) |
| 防衛装備庁 | 17 (6) | 3 (2) | 6 | | | | | | | | | 26 (8) |
| 衆議院事務局 | | | | | | | | | | | | |
| 衆議院法制局 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | 2,844 (1,254) | 112 (22) | 72 (6) | 254 (64) | 23 (12) | 103 (17) | 131 (57) | 134 (72) | 37 (16) | 115 (35) | | 3,825 (1,555) |

(注1) 2022年度一般職試験(大卒程度試験)の合格者で最終合格者発表日以後令和5年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む)。

(注2) ()内の数字は、女性の内数です。

令和7年4月の採用予定数は、令和6年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。

その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。

なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

RECRUITMENT STATUS / 採用状況

人事院地方事務局(所)の連絡先

| | | | |
|--------|-------------------|-----------|------------------|
| 北海道事務局 | Tel. 011-241-1248 | 〒060-0042 | 札幌市中央区大通西12丁目 |
| 東北事務局 | Tel. 022-221-2022 | 〒980-0014 | 仙台市青葉区本町3-2-23 |
| 関東事務局 | Tel. 048-740-2006 | 〒330-9712 | さいたま市中央区新都心1-1 |
| 中部事務局 | Tel. 052-961-6838 | 〒460-0001 | 名古屋市中区三の丸2-5-1 |
| 近畿事務局 | Tel. 06-4796-2191 | 〒553-8513 | 大阪市福島区福島1-1-60 |
| 中国事務局 | Tel. 082-228-1183 | 〒730-0012 | 広島市中区上八丁堀6-30 |
| 四国事務局 | Tel. 087-880-7442 | 〒760-0019 | 高松市サンポート3-33 |
| 九州事務局 | Tel. 092-431-7733 | 〒812-0013 | 福岡市博多区博多駅東2-11-1 |
| 沖縄事務所 | Tel. 098-834-8400 | 〒900-0022 | 那覇市樋川1-15-15 |

国家公務員試験や採用に関する最新の情報はこちらをチェック！



国家公務員試験採用情報NAVI

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>

X(旧Twitter)

https://twitter.com/jinjin_saiyo



Instagram

<https://www.instagram.com/jinjin.saiyo/>

メールマガジン

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga/mailmagazine.html>



内閣人事局のホームページ 国家公務員 CAREER GUIDE

<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/recruit/index.html>

お問い合わせ

人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3

Tel.03-3581-5311(代表)

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2023年9月発行